

## <領域：こころとからだのしくみ>

### 発達と老化の理解

問題 69 高齢者の年齢に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 高齢社会とは、全人口に占める70歳以上の人口の割合が14%以上の社会をいう。
- 2 後期高齢者とは、75歳以上の高齢者をいう。
- 3 普通自動車対応免許を有する65歳以上の者は、その運転する自動車に指定の標識をつける義務が生じる。
- 4 介護保険制度で第2号被保険者になる年齢は、65歳以上である。
- 5 「こうれいしゃぎやくたいぼうしほう高齢者虐待防止法」では、60歳以上を高齢者としている。

(注) 「こうれいしゃぎやくたいぼうしほう高齢者虐待防止法」とは、「こうれいしゃぎやくたい高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」のことである。

**問題 70** Aさん(73歳, 男性)は, 最近, 電話番号が覚えられないとこぼすようになった。自宅へ電話するときは間違えないが, 普段はあまり電話しないような場所にかけるときは, メモを見て一つ一つの数字を確認しながらでないと番号を間違えることが多い。受診したが認知症(dementia)ではないと言われた。

障害されている記憶として, **正しいものを1つ**選びなさい。

- 1 短期記憶
- 2 エピソード記憶
- 3 意味記憶
- 4 手続き記憶
- 5 遠隔記憶

**問題 71** 2010年(平成22年)の「国民生活基礎調査」で示されている, 介護が必要となった主な原因として, **最も多いものを1つ**選びなさい。

- 1 心疾患(heart disease)
- 2 呼吸器疾患(respiratory disease)
- 3 骨折(fracture)・転倒
- 4 脳血管疾患(cerebrovascular disease)
- 5 認知症(dementia)

**問題 72** 高齢者の疾患の特徴として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 症状が定型的である。
- 2 うつ症状は伴わない。
- 3 複数疾患の合併は少ない。
- 4 環境因子の影響を受けにくい。
- 5 生活の質(QOL)への影響が大きい。

**問題 73** 肝疾患(liver disease)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 A型肝炎(hepatitis A)は、輸血後に発症することが多い。
- 2 B型肝炎(hepatitis B)は、慢性肝炎(chronic hepatitis)になることはない。
- 3 C型肝炎(hepatitis C)は、進行すると、肝硬変(liver cirrhosis)、肝がん(liver cancer)へと病態が変化していくことが多い。
- 4 E型肝炎(hepatitis E)は、日本国内のウイルス肝炎(viral hepatitis)の大部分を占める。
- 5 アルコール性肝障害(alcoholic liver injury)は、肝硬変(liver cirrhosis)に進行することはない。

**問題 74** パーキンソン病(Parkinson disease)の代表的な症状として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 振戦
- 2 筋弛緩きんしかん
- 3 多動
- 4 下痢
- 5 高血圧

**問題 75** 心房細動(atrial fibrillation)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 合併症として脳出血(cerebral hemorrhage)が多い。
- 2 75歳以上では、ワルファリン(warfarin)などの投与を避ける。
- 3 頻脈になることが多い。
- 4 80歳以上では、有病率は1%以下である。
- 5 高血圧とは関連がない。

**問題 76** Bさん(76歳, 男性)は, 30年以上前から糖尿病(diabetes mellitus)があり, 朝食の前に血糖降下薬を内服している。薬剤や用量は5年前から変更はなく, 医師からは, インスリン(insulin)の分泌を増やす薬であると説明されている。また, 糖尿病(diabetes mellitus)の影響で, だんだんと腎臓じんぞうの機能が悪くなっているともいわれている。Bさんは, 「最近, 夕方になるとひどくおなかが空き, 『ふわふわする』と感じる。今日も同じような感じがあったが, クッキーを1つ食べたら良くなった」と言った。

Bさんへの介護職の対応として, 適切なものを1つ選びなさい。

- 1 クッキーなどの甘いものは食べないように, 助言する。
- 2 早めに主治医に相談するように, 助言する。
- 3 めまい外来を受診するように, 助言する。
- 4 1週間ほど経過をみるように, 助言する。
- 5 午後に運動を増やすように, 助言する。

## 認知症の理解

問題 77 リアリティ・オリエンテーション(reality orientation)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 現実の感覚や認識を確認して、見当識に働きかける療法である。
- 2 認知症(dementia)の人に特化したコミュニケーションの方法である。
- 3 思い出を語り合うグループワークである。
- 4 主体的な生活を獲得するための作業療法である。
- 5 動物を介在させる療法である。

問題 78 せん妄(delirium)の危険因子として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 睡眠過多
- 2 ビタミンC欠乏
- 3 多血症(polycythemia)
- 4 高熱
- 5 喫煙

**問題 79** Cさん(66歳, 女性)は, レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)を発症して, 介護老人福祉施設に入所することになった。喫煙歴や高血圧症(hypertension), 糖尿病(diabetes mellitus), 脂質異常症(dyslipidemia)の既往はない。

入所中のCさんに認められる状態として, 最も可能性の高いものを1つ選びなさい。

- 1 施設内で, 迷子になったり徘徊はいかいしたりする。
- 2 他の入所者の物を盗んだり, 人に迷惑をかけたりする。
- 3 日常の動作が遅くなったり, 転倒したりする。
- 4 四肢に麻痺まひが出現する。
- 5 舞踏病様運動が出現する。

**問題 80** 若年性認知症(dementia with early onset)の記述として, 適切なものを1つ選びなさい。

- 1 40歳以下で発症する認知症(dementia)のことである。
- 2 罹患率りかんりつは, 男性より女性の方が高い。
- 3 飲酒が原因のものは含まれない。
- 4 アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)が含まれる。
- 5 血管性認知症(vascular dementia)は含まれない。

**問題 81** 成人の認知機能を評価する方法の中で、口頭での回答と図形の模写などで簡便に行えるものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Functional Assessment Staging(F A S T)
- 2 改訂長谷川式簡易知能評価スケール
- 3 Mini-Mental State Examination(MM S E)
- 4 ビネー式知能検査
- 5 Clinical Dementia Rating(C D R)

**問題 82** 認知症(dementia)において、意欲低下と同時に認められる症状として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 希死念慮
- 2 罪業感
- 3 幻覚
- 4 収集癖
- 5 無関心

**問題 83** 認知症(dementia)の行動・心理症状(B P S D)の説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 傘立ての傘を人間と間違えるのは、幻視である。
- 2 感情を抑えられないのは、感情失禁である。
- 3 食欲が異常に亢進こうしんするのは、異食である。
- 4 夕方になると傾眠状態になるのは、夕暮れ症候群である。
- 5 目的もなくあちこち歩くのは、常同行動である。

**問題 84** 認知症(dementia)の妻が介護者である夫に対して、「夫が帰ってきます。お帰りください」と、言うようになった場合、妻の症状として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 実行機能の障害
- 2 失行
- 3 意識混濁
- 4 見当識障害
- 5 エピソード記憶の障害

**問題 85** 認知症疾患医療センターに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症患者が入院できる精神科病院のことである。
- 2 認知症専門医と作業療法士の配置が義務づけられている。
- 3 認知症(dementia)の人の要介護認定を行う。
- 4 認知症(dementia)の人の成年後見人を選ぶ。
- 5 地域の認知症医療の連携を強化する役割をもつ。

問題 86 Dさん(45歳, 女性)は, 認知症(dementia)で被害妄想のある母親を引き取って同居を始め, 1か月が経過した。最近, Dさんは, 「この苦労は体験した人でないとわからない。誰にも愚痴を言えないが, どうしたらいいか」と言うようになった。

Dさんの相談に対する介護職の対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 かかりつけ医に相談するように勧める。
- 2 母親を施設へ入所させてはどうかと勧める。
- 3 家族介護者の会を紹介する。
- 4 介護教室で介護技術を学ぶように勧める。
- 5 誰でもそう思う時期があると慰める。

## 障害の理解

問題 87 I C I D H (International Classification of Impairments, Disabilities and Handicaps : 国際障害分類) から I C F (International Classification of Functioning, Disability and Health : 国際生活機能分類) への変遷に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 I C I D Hは、機能・形態障害の分類が不十分という指摘があった。
- 2 医学モデルから社会モデルへの転換として、I C Fを位置づけた。
- 3 I C I D Hは、身体障害に適合できない部分があるという批判があり、I C Fが開発された。
- 4 I C I D Hにおける能力障害を、I C Fでは参加制約に置き換えた。
- 5 I C I D Hよりも、環境及び環境と個人の相互作用を重視したモデルとしてI C Fが提案された。

問題 88 ソーシャルインクルージョン (social inclusion) の理念として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 すべての人を社会の一員として包み込み、共に支え合う。
- 2 同年代の障害がない人の生活と同じような生活ができるように援助する。
- 3 必要な支援を受けながら、自分の生活を選択し決定する。
- 4 問題解決能力を抑圧された人々の主体性を回復する。
- 5 奪われたすべての権利を回復し、その人にふさわしい生活を取り戻す。

**問題 89** 免疫力が低下したH I V (human immunodeficiency virus)感染者の生活

上の留意点に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 火を通さない生ものを積極的に摂取する。
- 2 他者の皮膚に直接手で触れることは避ける。
- 3 びらんを防ぐために、こうもんしゅうい肛門周囲を清潔に保つ。
- 4 ひよりみかんせん日和見感染を防ぐために、日光に当たらない。
- 5 こうくうないしゅっけつ口腔内出血を防ぐために、こうくう口腔ケアは行わない。

**問題 90** 知的障害のある人のライフステージ(life stage)に応じた支援に関する次の

記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 乳児期には、身体的な成長と精神的な成長のアンバランスに配慮する。
- 2 幼児期には、将来の就職を考えた自立プログラムを提供する。
- 3 成人期には、家族の障害受容を支援する。
- 4 壮年期には、親と死別した後の生活への適応を支援する。
- 5 老年期には、障害者福祉サービスの利用を支援する。

**問題 91** 自閉症スペクトラム障害(autism spectrum disorder)のあるEちゃん(5歳)、

とのコミュニケーションとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「水筒にもっとたくさん水を入れてね」
- 2 「Eちゃんがいい子にしていたら、遊園地に連れて行ってあげます」
- 3 「手を洗って、ご飯を食べて、歯を磨いてから遊園地に行こうね」
- 4 「片づけが終わらないと、遊園地に連れて行きませんよ」
- 5 「Eちゃんは、これから遊園地に行きます」

問題 92 Fさん(55歳, 男性)は, 1年前に筋萎縮性側索硬化症きんいしゆくせいそくさくこうかしょう(amyotrophic lateral sclerosis : ALS)と診断された。以前よりも, 両上下肢の筋力低下が進み, 日常生活にも介助が必要となってきた。現在は, 壁を伝いながら, 妻の介助でどうにか歩行は可能である。からだを起こすと血圧が低くなり呼吸が苦しくなるため, 「何もしたくない」と自宅の中だけで過ごすことが多い。

介護職の対応として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 血圧低下を治療する。
- 2 妻に病状の進行を説明する。
- 3 人工呼吸器の装着を促す。
- 4 安楽な体位を工夫する。
- 5 運動・体操を指導する。

問題 93 慢性閉塞性肺疾患まんせいへいそくせいはいしっかん(chronic obstructive pulmonary disease)の人の日常生活上の留意点として, **適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 入浴では, お湯の温度を高めにする。
- 2 着替えをするときには, 腕を高く上げない。
- 3 立ち上がるときには, 息を止める。
- 4 和式トイレを使用する。
- 5 低カロリーの食事を摂取する。

問題 94 リハビリテーションの専門職の業務として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 言語聴覚士は、えんげくんれん嚥下訓練を行う。
- 2 義肢装具士は、義肢を処方する。
- 3 視能訓練士は、高次脳機能障害(higher brain dysfunction)の評価を行う。
- 4 作業療法士は、知的障害者の疾病予防や健康づくり支援を行う。
- 5 理学療法士は、精神障害者の社会復帰の相談援助を行う。

問題 95 Gさん(24歳、男性)は、父親と同居している。半年前に統合失調症(schizophrenia)を発症し、3か月精神科病院に入院した。現在は仕事を休み、服薬を続けながら、ホームヘルプサービスを利用し、自宅療養中である。日中はほとんど動くことができず、一日中寝ていることもある。父親はGさんに「どうして仕事ができないのか」、「薬に頼ってばかりではいけない」と言い、Gさんは父親に言われるたびに落ち込んでいる。

父親に対する介護職の支援として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 以前のように仕事ができると信じていることを、Gさんに伝えるように勧める。
- 2 薬の管理を父親が行うように勧める。
- 3 家族心理教育プログラムへの参加を勧める。
- 4 Gさんを誘って気晴らしに旅行するなどの娯楽を勧める。
- 5 規則正しい生活をするように、Gさんを励ますことを勧める。

問題 96 レスパイトケア (respite care) の目的として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の身体的安静を確保すること
- 2 介護を担う家族に休養を提供すること
- 3 介護職に休息を提供すること
- 4 利用者のリハビリテーションの機会を確保すること
- 5 介護を担う家族の経済的負担を軽くすること

## こころとからだのしくみ

問題 97 生理的欲求に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 経験や学習から獲得される欲求のことである。
- 2 ホメオスタシス(homeostasis)の働きによって制御される。
- 3 他者からの承認などの欲求である。
- 4 マズロー(Maslow, A.H.)の欲求階層説では上位に位置する。
- 5 社会的・情緒的満足との関係が深い。

問題 98 ランゲルハンス島を有する臓器として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 心臓
- 2 肝臓
- 3 腎臓  
じんぞう
- 4 脾臓  
ひぞう
- 5 膵臓  
すいぞう

問題 99 心拍数が減少する要因として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神的緊張
- 2 怒り
- 3 体温の上昇
- 4 睡眠
- 5 激しい運動

問題 100 <sup>だえき</sup> 唾液に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 1日に3ℓほど分泌される。
- 2 <sup>しょうだえきせん</sup> 小唾液腺には、<sup>じかせん</sup> 耳下腺、<sup>ぜっかせん</sup> 舌下腺及び<sup>がっかせん</sup> 顎下腺がある。
- 3 <sup>だえき</sup> 唾液に含まれる水分は、50%程度である。
- 4 <sup>だえき</sup> 唾液には、消化酵素が含まれる。
- 5 <sup>だえきぶんびつちゅうすう</sup> 唾液分泌中枢は、小脳にある。

問題 101 皮膚に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 表面は無菌である。
- 2 ビタミンB (Vitamin B)の産生にかかわる。
- 3 表面は弱酸性である。
- 4 <sup>かんせん</sup> 表皮に汗腺がある。
- 5 <sup>せん</sup> エクリン腺は、体臭の原因となる。

問題 102 疾患に伴う歩行の特徴として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 パーキンソン病(Parkinson disease)では、小刻み歩行がみられる。
- 2 <sup>きんいしゆくせいそくさくこうかしょう</sup> 筋萎縮性側索硬化症(amyotrophic lateral sclerosis : ALS)では、失調性歩行がみられる。
- 3 アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)では、小振り歩行がみられる。
- 4 <sup>へんけいせいしつかんせつしょう</sup> 変形性膝関節症(knee osteoarthritis)では、<sup>かんけつせいこう</sup> 間欠性跛行がみられる。
- 5 <sup>せきちゅうかんきょうさくしょう</sup> 脊柱管狭窄症(spinal stenosis)では、動揺性歩行がみられる。

問題 103 栄養素に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 糖質は、細胞質の主成分となる。
- 2 脂質は、ホルモン(hormone)の原料となる。
- 3 カリウム(K)は、血圧を上げる。
- 4 ビタミンA(Vitamin A)は水溶性である。
- 5 ビタミンE(Vitamin E)は、腸管からのカルシウム(Ca)の吸収を促進する。

問題 104 入浴を避けるべき状態として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 胃ろうカテーテル留置
- 2 全介助
- 3 褥瘡じょくそう
- 4 食事の直後
- 5 尿道カテーテル留置

問題 105 認知症(dementia)の人によくみられる排尿障害として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 溢流性尿失禁いつりゅうせいにようしっきん
- 2 腹圧性尿失禁
- 3 心因性頻尿
- 4 切迫性尿失禁
- 5 機能性尿失禁

問題 106 高齢者の睡眠の特徴として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 夜間の睡眠時間が長くなる。
- 2 ノンレム睡眠の時間が増える。
- 3 中途覚醒ちゅうとかくせいが多くなる。
- 4 眠りが深くなる。
- 5 早朝覚醒そうちょうかくせいが少なくなる。

問題 107 終末期において、死亡直前にみられる身体の変化として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 筋肉の硬直
- 2 皮膚しはんの死斑
- 3 尿量の減少
- 4 関節の硬直
- 5 角膜の混濁

問題 108 Hさん(75歳)は、妻と二人暮らしであったが、最近、妻が亡くなった。

その後、Hさんは親戚や知人とも会わずに、自室にこもっていることが多くなった。  
また、夜間は妻が使っていたタンスの前に座ったり、台所で妻の好きだった食器を出したりして家の中をうろうろしている。

妻と死別後のHさんの夜間の行動を説明する悲嘆反応として、適切なものを1つ  
選びなさい。

- 1 探索行動
- 2 否認
- 3 敵意
- 4 無関心
- 5 恐怖

## <総合問題>

### 総合問題

#### (総合問題 1)

次の事例を読んで、問題 109 から問題 111 までについて答えなさい。

[事例]

Jさん(36歳、男性)は、6歳の時、大学病院で精神(発達)遅滞の判定を受け、療育手帳(重度)が交付された。

両親はJさんに必要以上の世話をし、衣服の着脱も介助していた。しかし、両親が高齢になり家庭でJさんの介護が困難になったため、1週間前にJさんは障害者支援施設に入所した。言葉によるコミュニケーションは簡単な単語の理解ができる程度であり、生活全般に指示や見守りが必要である。たばこの吸殻を食べてしまう行為がみられ、吸殻を探して施設の近所まで出歩くなどの行動もみられた。対人関係をうまく築けないようで、なれない人たちの中に入ると、上肢を噛むなどの自傷行為が現れることも分かってきた。

問題 109 入所当日、Jさんが初めて衣服を着替える時に、介護職が行う支援として、

最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Jさんが自分でできるまで待つ。
- 2 衣服の前後・表裏に印をつける。
- 3 Jさんの着る順番に衣服を並べておく。
- 4 Jさんが着てから、間違いを訂正する。
- 5 Jさんが着られなくなると、そのたびに支援をする。

問題 110 日中にJさんが利用しているサービスとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 同行援護
- 2 生活介護
- 3 療養介護
- 4 居宅介護
- 5 短期入所

問題 111 Jさんは、日中は空き缶つぶしなどの軽作業をしている。介護職が時間ごとに次の行動を支援すると、大きな混乱もなくできるようになり、施設での生活リズムが少しずつ身についてきた。そこで、介護職はJさんが他者と円滑な関係を作れるような支援を提案した。

この提案した内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 出歩かないように、活動範囲は居室に限定する。
- 2 少人数のレクリエーションを行う。
- 3 多くの入所者と共同作業を行う。
- 4 自傷行為がみられた場合、向精神薬の服用を検討する。
- 5 複雑な作業課題を日中活動として行う。

## (総合問題 2)

次の事例を読んで、問題 112 から問題 114 までについて答えなさい。

〔事 例〕

K さん(65 歳)は、夫(70 歳)と二人暮らしをしていた。K さんは骨粗鬆症こつそしょうしやう(osteoporosis)と診断を受けていたが、最近、約束していたことを忘れるなどの記憶力の低下や人格の変化がみられるようになり、前頭側頭型認知症(frontotemporal dementia)と診断され、要介護認定で要介護 3 となった。

夫は体調を崩して、近所の病院に入院することになった。夫が介護支援専門員(ケアマネジャー)に相談して、K さんは、夫の入院する病院に併設されている施設に入所した。この施設は、看護、医学的管理の下に介護や機能訓練などを実施している。

K さんは施設入所後、介護職の問いかけに返事をしなかったり、急に服を脱ぎだすなどの行動を繰り返した。日常生活では、すべての動作に見守りと声かけが必要な状態であった。

問題 112 K さんが入所した施設として、次の中から正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 小規模多機能型居宅介護
- 2 介護老人福祉施設
- 3 認知症対応型共同生活介護
- 4 介護老人保健施設
- 5 救護施設

問題 113 Kさんが自室で急に服を脱ぎだしたときの介護職の対応として、次の記述の中から最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 服を脱いでいる行動を止める。
- 2 服を脱がないように説得する。
- 3 服を脱ぐのは、恥ずかしいことだと伝える。
- 4 落ち着くまで見守る。
- 5 服を脱いでいる行動を無視する。

問題 114 夫は体調が回復して退院した。その2日後、夫は施設を訪ねた。夫とKさんが廊下を歩いていると、Kさんは急にバランスを崩し、尻もちをついて転倒した。その時、手はつかなかった。

Kさんの状況から、最も骨折(fracture)しやすい部位として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 橈骨とうこつ
- 2 鎖骨
- 3 上腕骨
- 4 脊椎せきつい
- 5 肩甲骨

### (総合問題 3)

次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。

〔事例〕

L さん(80 歳)は、妻(75 歳)と二人暮らしである。半年前に脳梗塞(cerebral infarction)を起こし、左片麻痺が残った。時間をかければ、着脱や洗面など、身の回りのことができる。現在、要介護 1 で、週 1 回訪問介護(ホームヘルプサービス)を受けている。妻は、70 歳ころから軽い心不全(heart failure)が繰り返し起きるため、屋内での生活が中心となっている。

L さんは、自分でできることは自分でやりたいと思っているが、妻は夫の世話は自分の役割と思って、L さんが自分でできることでも世話をしてしまう。

L さんはお風呂が好きで、脳梗塞(cerebral infarction)を起こす前は、毎日、湯船につかっていた。しかし、自宅の浴槽の縁が浴室の床から高く、妻の介助では、湯船につかることができないために、退院後はシャワーを使用していた。L さんは「在宅生活を続けながら、週 1 回でも湯船につかりたい」と訪問介護員(ホームヘルパー)に話している。

**問題 115** L さんが起き上がって自分で上着を着ようとしていると、妻が介助して着せた。

それを見た訪問介護員(ホームヘルパー)の妻への対応として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 「L さんはできますよ、次から本人に任せてみましょう」
- 2 「次からは、私がやりましょう」
- 3 「L さんに楽をさせないようにしましょう」
- 4 「これからも服を着せてあげましょう」
- 5 「まず、ご自分のことを心配しましょう」

問題 116 妻は、訪問介護員(ホームヘルパー)に「おとといの朝、夫が咳せきをしていたので病院に行き診察を受けましたが、医師から、熱もないし検査結果も心配はないと言われました。念のためベッドに寝かせていますが、自分で寝返りはしていません」と話した。

がしょう  
臥床を続けた場合に、最初に現れると予測される身体の状態として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 嚥下障害えんげしょうがい
- 2 寝たきり状態
- 3 筋力低下
- 4 心不全(heart failure)
- 5 褥瘡じよくそう

問題 117 Lさんの「在宅生活を続けながら、週1回でも湯船につかりたい」という希望をかなえるための介護保険のサービスとして、次の中から最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 訪問リハビリテーション
- 2 居宅療養管理指導
- 3 訪問看護
- 4 特定施設入居者生活介護
- 5 通所介護

## (総合問題 4)

次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。

〔事例〕

M君(8歳, 男性)はデュシェンヌ型筋ジストロフィー(Duchenne muscular dystrophy)と診断され, 地元の小学校に通学している。保育所時代の友達も多く, 学校生活でも様々な手助けをしてくれている。

母親は働いていて, 小学校の授業が終わる時間にM君を迎えに行くことができない。そこで, 放課後等デイサービスを利用しているが, 母親は友人から, 「学童保育には年齢制限があったけど, M君の利用している放課後等デイサービスは大丈夫なの」と言われた。母親はサービスを利用する際に説明を受けた気もするが, 記憶が確かではなく心配になってきた。

最近, M君は歩行が不安定になってきており, 母親は, M君が車いすを使用する時期になってきたのではないのかと感じている。身体的な機能を考えると, できるだけ歩かせたいと思う一方, 歩行を重視すれば, 行動範囲が狭くなり, M君の世界を広げることができなくなるかもしれないと考えている。筋力低下がADL(Activities of Daily Living: 日常生活動作)に深刻な影響を及ぼし始めている現状を, M君のガイドヘルパーをしているY介護職に, 母親はときどき相談をしている。

**問題 118** 母親はY介護職に, 「息子の利用している放課後等デイサービスは, 通常はいつまで利用できるのか」と尋ねた。

Y介護職の回答として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 小学校3年生まで
- 2 小学校卒業まで
- 3 中学校卒業まで
- 4 高等学校卒業まで
- 5 大学卒業まで

**問題 119** M君のようなデュシェンヌ型筋ジストロフィー(Duchenne muscular dystrophy)の人が、車いすを使用するようになっても最後まで自立できるADL(Activities of Daily Living：日常生活動作)として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 食事動作
- 2 入浴動作
- 3 排泄動作はいせつどうさ
- 4 更衣動作
- 5 移乗動作

**問題 120** M君はやがて歩けなくなることが予想される。Y介護職は母親から「筋力をできるだけ保ちながら、今の活動範囲を維持するためには、今後どうしたらよいのでしょうか」と助言を求められた。

Y介護職の提案として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自走式普通型車いすと電動普通型車いす2台の使い分け
- 2 自走式普通型車いすの利用
- 3 手押し型車いすの利用
- 4 電動普通型車いすの利用
- 5 歩行の継続